

40代ファッション雑誌
朝日新聞社×宝島社『GLOW』40代からの
女性の輝く生き方を応援！エイジング
グレイスフリー
「Aging Gracefully」プロジェクトアンバサダー **観月ありさ**さん初の2年連続就任！

プロジェクト7年目は、“Me Time”（自分のための時間）がテーマ！

ファッション雑誌販売部数トップシェア(※)の株式会社宝島社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:関川誠)が発行する女性ファッション雑誌『GLOW(グロー)』と、株式会社朝日新聞社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:中村史郎)による共同事業、「Aging Gracefully(エイジンググレイスフリー)プロジェクト」がこの春7年目を迎えます。プロジェクトアンバサダーは昨年につき、観月ありささんが務めることを4月26日(金)発売の『GLOW』6月号にて発表。Aging Gracefullyサイトには5月初めにオリジナルインタビュー記事もアップされます。

『GLOW』は「45才、輝きはいつだって自分の内側にある」がコンセプトの40代向け女性ファッション誌です。2010年の創刊当初から、ファッション・美容・ライフスタイル情報の発信だけでなく、加齢を否定しないポジティブな女性像を打ち出し続け、“40代女子”“グッドエイジング”という言葉の提唱をはじめ、新たな価値観を浸透させてきました。

「Aging Gracefully」(以下、「AG」)とは“優雅に年を重ねる”という価値観を指し、女性の2人に1人が50歳以上といわれる現在の日本で、「加齢に対する新しい価値観を広めていきたい」という考えから2018年よりプロジェクトをスタートしました。そして7年目となる今年、新たに掲げるテーマは「Me Time(自分のための時間)」。「自分のための時間を意識的に作ることで、より自分自身の人生をポジティブに過ごせるよう、『GLOW』は積極的に提案していきます。

本プロジェクトでは、ファッション雑誌販売部数トップシェア企業として、女性マーケティングを強みとする宝島社と、朝日新聞社の様々なリソースを活かし、読者イベントはじめ、専門家を招いたフォーラムや勉強会、座談会、商品開発に取り組むパートナー企業のサポート活動も予定。AGの取り組みについて誌面を読んだ方からは「気持ちが晴れた」「心が軽くなった」という前向きな感想や、「知りたいことがわかってためになった」「年齢は関係ないと思えた」という声をいただいています。

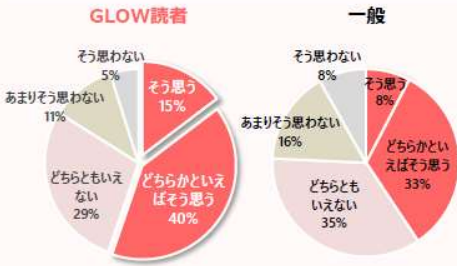
※日本ABC協会 雑誌発行社レポート2023年上半年(1~6月)より

『GLOW』6月号
2024年4月26日発売
特別価格：1420円(税込)『GLOW』6月号増刊
2024年4月26日発売
特別価格：1460円(税込)

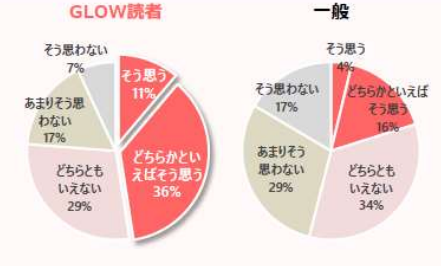
- 朝日新聞デジタル「Aging Gracefully」
(<https://aginggracefully.asahi.com>)
- GLOW Online (<https://glowonline.jp>)

AGの取り組みについてGLOWの記事を読んだ方からは「気持ちが晴れた」「心が軽くなった」という前向きな感想や、「知りたいことがわかってためになった」「年齢は関係ないと思えた」という声をいただいています

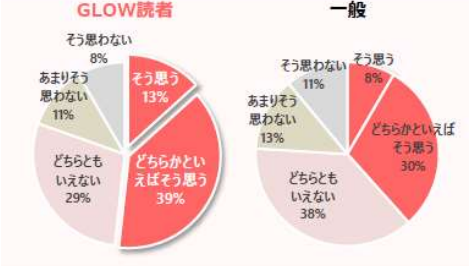
Q：ほとんどのことは楽しめる



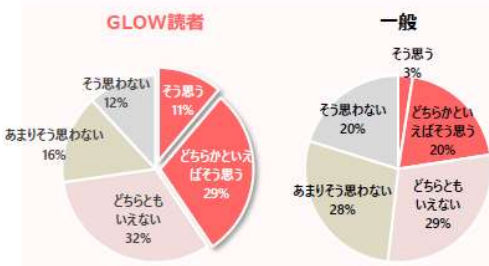
Q：何でも挑戦できると感じる



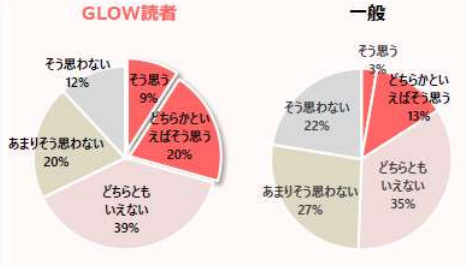
Q：人生は素晴らしい



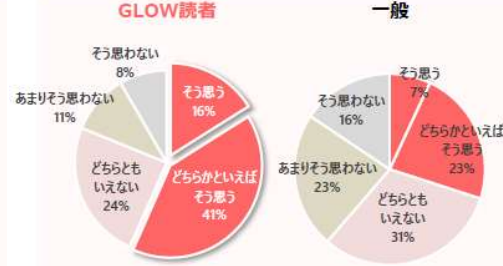
Q：自分の人生を思うようにコントロールできている



Q：自分は魅力的である



Q：将来やりたいことがある



【GLOW読者】 調査対象：40、50代の『GLOW』読者
 調査期間：2023/12/11～2023/12/12 有効回答数：103名
 調査機関：マクロミル 調査方法：インターネット

【一般】 調査対象：40、50代
 調査期間：2023/12/11～2023/12/12 有効回答数：1,032名
 調査機関：マクロミル 調査方法：インターネット

Ageing Gracefullyプロジェクト プロジェクトリーダーコメント

宝島社『GLOW』編集長 井下香苗

今年の合言葉は「Me Time」！

人生100年時代、そういわれて久しい昨今。40代、50代は折り返しとはいえ、まだまだやりたいことや、叶えたい夢だっているはず。40代からの女性は、想像以上にパワフルです。忙しい毎日の中で、お洒落、美容、健康etc. 自分と向き合う時間を楽しむことの積み重ねが、今日、そしてこれから先のしあわせを育てていく——40代、50代の女性へのエールを、観月ありささんとともに送っていきたいと思います。



朝日新聞社 Ageing Gracefullyプロジェクトリーダー 坂本真子

自分のために使う10分間の「Me Time」を

Ageing Gracefully(=AG)とは前向きに年齢を重ねることだと、AGプロジェクトでは考えています。そのために最もお伝えしたいのは、「母でもなく、妻でもなく、女でもない、『わたし』を大切にすることです。人生100年時代といわれる今、年齢を重ねることを前向きに楽しむために、「わたし」を大切に自分のために使う時間、「Me Time」を設けてみませんか。まずは一日に10分間の「Me Time」から始めることをおすすめします。



『GLOW』6月号の表紙&誌面に観月さんが登場

昨年はアンバサダーとしてイベントなどに参加させていただいて、同世代の方と接したり、いろいろな声を聞く機会に恵まれました。もともとポジティブな性格なのですが、みなさんから元気ももらって、さらに前向きに過ごせるように(笑)。2期目はより前向きにハッピーに！自分が興味を持ったことや役立ちそうな情報、毎日を楽しめるヒントなどをダイレクトに伝えていけたらいいなと思っています。



観月ありさんプロフィール

女優・歌手。1976年12月5日生まれ、東京都出身。A型。4歳から子役モデルとして活動。1988年女優デビュー。1991年、初シングル「伝説の少女」を発売、日本レコード大賞新人賞を受賞。代表作は『ナースのお仕事』『鬼嫁日記』など。直近ではテレビ東京のドラマ『ダ・カーポしませんか?』に出演。

様々なアンバサダーが、40代、50代女性の輝く生き方を発信してきました

2018年度 あした、今日より、素敵なひと。



2019年度 ゆるっと、ゆうがに。



2020年度 「新しい大人」へ、ご一緒しましょう。



2021年度 ワクワクしちゃえ。



2022年度 もっと自由に、わたしらしく。



2023年度 40代からの女性の輝く生き方を応援



GLOWは、Aging Gracefully世代を企業様とともに応援。
企業様のAG世代に向き合うためのソリューションやアイデアも提供します！

【ワード開発】GLOW×パナソニック「リフ活」

【コラボ開発】GLOW×青山商事

【誌面】

【誌面】

【イベント】

大人の暮らスタンダード、週末の「リフ活」
金曜の夜は、私を超・解放!

GLOW編集部セレクト
金曜の夜に大人の女性を解放する **5 items**

- ジンギスカン・ユウガンの 5 items
- Basaraの シルクアウツベスト
- サンタマリアの アップルパイ
- パナソニックの ショーツ
- ジーンズ オブ ストリート

GLOW SUIE SQUARE PRESENTS
スーツ&スケージョン 作り直しました!



Aging Gracefully 2024 プロジェクト活動

朝日新聞社と宝島社で2018年に発足した「Aging Gracefullyプロジェクト」では引き続き40代、50代の女性が輝ける情報&メッセージを発信していきます。

GLOWプレミアムサロン2023イベント



AGカフェ（読者参加イベント）



AG勉強会（企業向け勉強会）



ほか、「朝日新聞デジタル-Aging Gracefully」や「GLOW ONLINE」「GLOW」の誌面でも随時情報発信中！

「AGフレンズ」



(左)高尾美穂さん
(中央)松本千登世さん
(右)村田貴子さん

Aging Gracefullyプロジェクトは2023年度、「健康」「美容」「お金」各分野の専門家3人を「AGフレンズ」としてお迎えしました。メンバーは、高尾美穂さん（産婦人科専門医、医学博士、婦人科スポーツドクター、女性のための統合ヘルスクリニック「イーク表参道」副院長）、松本千登世さん（美容エディター・ライター）、村田貴子さん（ファイナンシャルプランナー、ほけんの窓口グループ株式会社教育部担当部長）です。

高尾さんは昨年11月のAG勉強会で「女性が働きやすい職場をつくるために」と題して講演し、登壇した企業の担当者と「フェムテックで職場が変わる？」をテーマに対談しました。

松本さんと村田さんは今年2月にライブ配信したAGフレンズカフェに出演。松本さんは「大人美容を、楽しく」、村田さんは「物価上昇に負けない！ 今こそ始めるAG世代のためのマネーセミナー～新NISA活用法～」をテーマにそれぞれ話しました。

3人の講演を採録した記事はAging Gracefullyサイト (<https://aginggracefully.asahi.com>) で公開中です。また、それぞれの書き下ろしコラムも同サイトに掲載しています。

AGフレンズは24年度も同じ顔ぶれで続投していただくことが決まりました。どのような発信をしていくのか、ご期待ください。